

授業改善書

科目名	健康科学 I
担当者	小山内 弘和

授業の概要

実技は、「身体を動かす」ことに重点を置き、複数の運動・スポーツにより展開する。これにより、自らの体力的な状況を実感するとともに、運動・スポーツの楽しさを感じられるよう指導する。
講義では、身体計測を通して、自己の身体の現状を知ること、また、反復測定によりその変化を実感してもらう。さらに、実技での体力的実感と生活内容から、その原因を考えられるよう講義する。

授業の問題点

授業への学習態度に関する項目において、すべての時間において「時間外学習」、「質問や発言」、「ノートテイク」に関する項目の点数が低かった。
授業内容、方法、全体においては、特に問題は見られなかった。

授業改善の課題・方策

授業に関する問題点等に関しては、本授業の例年通りの結果であった。
「時間外学習」に関しては、授業初回のガイダンスにおいて、学生へ生活のすべてにおいて健康科学として考えられるテーマであることを伝えた。最終でのレポートの中には、自己の生活の中での気づき等を記述している学生がいることから、アンケートの点数には反映されていないものの、生活の中で学生が何らかの形で進めていたものと推察される。
「ノートテイク」に関しても、生活活動記録やカロリー計算等、配布資料の中に書き込み形式として授業内で行っている。本授業の特徴でもあるが、実技と講義が混在していることから、実技に関するイメージが強く残っているものと思われる。
「質問や発言をしたか？」に関しては、講義内での質問は多々あったように感じ、授業内容として十分理解が得られたものと感じている。しかし、得点からは、この項目に不足があることは明らかであり、今後の課題とする必要があるかも知れない。

その他

自由記述に関して、授業が好きだったとの記述は、授業を展開した教員としては大変うれしいことである。運動の楽しさを十分に感じてもらえたものと推測される。一方、種目や内容に関する意見も見られた。この点に関しては、授業の特性上、また、個人の意見で変更できない内容であり、事前に伝えつつもりであったものの、残念な意見となった。授業内容や授業全体の展開に関しても伝えていく必要があるのかも知れない。